



中田青指のマーク

児童憲章

児童は、人として尊ばれる。
児童は、社会の一員として重んぜられる。
児童は、よい環境の中で育てられる。

青空

第36号

発行責任者 泉区中田地区
青少年指導員協議会
会長 國分満義
TEL 090-7422-3842
発行日 平成27年3月



中田地区青少年指導員協議会

会長 國分満義

モラルを大切にする中田



第24期、青少年指導員の活動がスタートしてちょうど1年が過ぎました。チームワークという点においては、ゴルフのセリフではありませんが、最高のメンバーに恵まれ、青少年の育成活動等にモチベーションとスキルアップに手ごたえが感じられております。残り1年の任期をメンバー一丸となって、地域の子ども達と一緒に楽しめる活動を企画していきたいと思っております。

私達青少年指導員について少し説明したいと思います。中田地区からは29名、泉区全体では、154名が横浜市長より委嘱を受けております。皆それぞれ血液型も性格も年齢も体力も性別も職業も異なる人達の集まりです。そんな中でも求められているのは、地域における青少年の自主活動とその育成組織を推進することによる、青少年の健全育成を図ることです。育成活動に情熱を持つ人や関係機関・団体と連携して率先して活動できる人などが求められています。

私達はあくまでもボランティア団体ですが、活動をしていく上で、以下が大事なかな。と思います。それは、「情熱・誠実・尊敬・規律」で、どれか一つでも欠けてしまうと、歯車が正しく回らなくなってしまいます。時には過去を振り返って見ることが、慣れ、おごり防止の観点からも必要かと思っております。年間を通じて種々イベントに係っておりますが、活動している自分が楽しければ、参加した子ども達にもそれが伝わると思っております。27年度も楽しい企画をたくさん発信してまいりますので、ぜひ、楽しみにしててくださいね。

近年、不道德行為の犠牲になる児童の痛ましい事例が報道されることがしばしばあります。関係機関・団体や地域の皆さんと連携して、先ずは中田の町の安全強化の取り組みに私達も何らかの協力をしていきたいと思っております。

“次年度も地域の皆さんのご協力をよろしくお願い致します”

「学校運営協議会」で地域連携強化



汲沢中学校

校長 栗原史生

本校学区は泉区(中田連合自治会)と戸塚区(汲沢・北汲沢・踊場連合町内会)にまたがり、4つの連合と連携させていただいています。とりわけ青少年指導員協議会と連携は大きな力となっています。学校へのご支援とともに地域行事へのボランティア活動等積極的に参加させて頂いております。

こうした状況の中で、「地域の教育力を活かし」「学校・家庭・地域をつなぐ」役割を担い、地域の方々(運営委員)が学校運営に直接参画できる組織(「学校運営協議会」)を発足させました。教育長からの任命による運営委員は、4連合の代表の方々とは有識者2名から構

成されています。中田地区からは3名(岩城孝子様・山上洋美様・宮田貞夫様)に運営委員をお願いしております。

その役割は、学校評価に対しての意見・提言、学校への教育的支援、地域活動に対するボランティア活動などの調整です。

この協議会を学校運営改善に資する協議機関と位置づけ、年4回開催の中で、学校・家庭・地域がさらなる協働を通じて、汲沢中学校の教育の一層の充実を図ります。

「まちと共に歩む学校運営」「学校と共に歩む地域活動」がテーマです。

中田地区青少年指導員年間活動記録

ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会 平成26年5月31日

区内の障がいを持った方々と中学生・高校生をはじめ地域のみなさんが軽スポーツを通して、ふれあいを広め、助け合いの心を育むことを目的とした大会が泉遊水地で行われました。



▲デカパン競争
障がい者と中学生のペアで走ります



▲パン食い競争のスタートです

全員研修会 平成26年6月15日

本年度は中川地区センターにて、東泉寺住職関水俊道様を講師にお迎えし、「子どもたちに今伝えたいこと いのち・やさしさなど」のテーマで約2時間にわたり、命の大切さ、優しさ、また地域の人々の絆・価値観等大変有意義な講話をして頂き、午後はペタンクの実技研修を行いました。



▲講師(東泉寺住職)



▲ペタンク きわどい距離です

全市一斉パトロール 平成26年7月12日

青少年を取り巻く社会環境健全化を推進するため、全市一斉に全青少年指導員が一丸となってパトロールを行い、地域で青少年の健全育成に大きな影響を与えている各地区の社会環境実態把握を行いました。

キャンプ教室 (研修委員会) 平成26年7月19日～21日

前々回から継続して南足柄市のezBBQキャンプ場にて実施しました。参加者は女子40名、男子18名、青指26名、スポ推3名の総勢87名で、今回は中学生も3人参加してくれて大助かりでした。何度か急な雨に見舞われて大変な思いもしましたが、中断したキャンプファイヤーも含め、花火やきもだめし大会、工作教室など、準備したイベントは全て実施でき、全員大事なく帰還して、みんな楽しい夏の思い出になったようです。地域みんながお友達になれるよう、次回もたくさんの参加をお待ちしています。



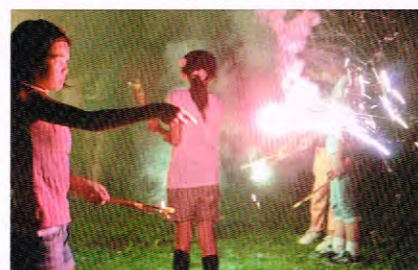
▲川遊びは涼しくて楽しいよ



▲協力して食事を準備します



▲思い出のキャンプファイヤー



▲やっぱり夏の夜は花火でしょ



▲みんなで食べると美味しいね



▲またみんなで会えるといいね

サマーフェスティバル (活動委員会) 平成26年8月23日

サマーフェスティバルでは、中田小学校マーチングバンド、横浜市消防音楽隊、中田中学校吹奏楽部による音楽や、学童保育の子どもたちによる迫力ある和太鼓の演奏をして頂きました。グラウンドでは、毎年恒例となった小学校・中学生の子どもたち自らが企画したゲーム大会も開催されました。ゲームに参加した多くの子どもたちの笑顔が見られ、運営に携わった子どもたちも達成感を味わうことができ良い思い出になったと思います。

来年も皆さんが楽しんで頂けるような企画を考えますので、ご参加頂ければ幸いです。最後にご協力・協賛頂きました各団体・商店など、また町内会・自治会・子ども会の皆様、本当にありがとうございました。



▲セレモニーで挨拶する望月連合会長



▲楽しい演奏を披露した中田中学校吹奏楽の皆さん



▲全国大会金賞を受賞した中田小学校マーチングバンドの皆さん



▲素晴らしい演奏を聞かせて頂いた横浜消防音楽隊の皆さん



▲ピンゲーム大会の賞品を選ぶ子どもたち



▲迫力ある太鼓演奏の中田学童保育所の子どもたち

御霊神社例大祭 平成26年9月21日



▲錫杖を先頭に山車のお通り



▲お囃子が聞こえたら山車の登場



▲子どもたちも一生懸命曳きました

横浜市青少年指導員研修会 平成26年10月5日 於 戸塚公会堂

中田連合大運動会 平成26年10月12日

東中田小学校“ふれあいDoing” 平成26年10月25日

すっかり定番になったスライム、昔遊び(コマ・けん玉等)、ぶんぶんゴマを青指はお手伝いしました。子どもたちと楽しいひと時を過ごさせていただきました。来年も何か新しいアイデアを提案していっしょに楽しみたいと思います。



▲スライム



▲コマうまく回せたかな

泉区ふれあい祭り 平成26年11月3日 (和泉遊水地)

子どもたちの未来を創る“いず魅力”をテーマに、多くの区民が一堂に会し、ふれあいの場を持つことで、一層の郷土愛と相互の絆を深め、明るく元気の出る街づくりを推進する目的で行われました。



▲青指はやくそばとポップコーンを作りました



▲ステージ発表



文化祭

(文化委員会)

平成26年11月8日・9日

第41回中田連合文化祭が開催されました。会場の中田小体育館には朝早くから展示スペースが次々と組立てられ、手芸や書道など数々の力作を陳列し終えた午後5時から一般鑑賞をおこないました。翌日は葛野小の合唱が展示に花を添えてくれました。グラウンドは例年とおり模擬店でにぎわい、宮城県中田町の皆さんにも出店いただきました。

心配されたお天気も持ち直し、今年の文化祭も盛況のうちに終了することができました。来年もまた皆様方の多くのご参加をお待ちしています。



▲ 力作揃いの展示会場



▲ 岩城実行委員長の開会宣言



▲ バザー会場は大賑わい



▲ 季節のお花の販売会です



▲ 綿菓子子どもたちに大人気

全市一斉統一行動キャンペーン (中田小学校) <文化祭時に同時開催>

新春健康マラソン 平成27年1月18日

中田地区青少年指導員研修会 平成27年3月7日～8日 静岡 三保 テーマ「子どもたちに今伝えたいこと」

泉区青少年フェスティバル 平成27年3月15日 泉公会堂

横浜市青少年指導員大会 平成27年3月21日 於 県立青少年センター

青少年の居場所づくりを開催
(5/17・7/26・10/18・12/20・1/17)

定例会を毎月1回開催



▲ 親子で仲良く凧づくり



▲ 風吹いてくれないかな



▲ わぁー上がった上がった



▲ クッキーづくり

1年間を振り返って

一番の思い出は、いずみ軽スポーツ大会での二人三脚(デカパン競走)です。

障がいを持った方々のお手伝いをするのは初めてで、3年前47歳の時にアキレス腱を切って不自由な思いをした時のことを思い出しました。一番の思い出は、小学二年生の息子との青指活動の二人三脚です。子どもが参加できる活動には息子と参加して、家事(下の子担当)と青指活動のバランスを取る工夫をしました。

今年は息子とキャンプ教室と一緒に参加します。体験から学んだことを今後の青指活動に活かし、地域社会の発展に貢献して行きたいと考えています。(櫻井 邦夫)

永年勤続者顕彰

青少年指導育成活動に多大なる尽力をされた児玉俊次氏(池谷自治会)が勤続15年表彰を受章しました。



多くのイベントで子ども達とのふれあい、楽しい15年間でした。まだ任期は途中ですから、健康に気をつけ頑張ります。(児玉)

編集後記

青少年指導員協議会がどのような活動を行っているか、「青空」36号で月日を追って写真を交えながらご説明いたします。今年はメンバー改選の年でしたが、新しい仲間とともに地域の皆さまのご協力により各種イベントを開催でき、たくさんのお子様も笑顔で参加することができました。これからも「みまもりから、一歩先へ」をテーマに楽しい報告ができるようメンバー全員で取り組んでまいります。今後も皆さまのご参加・ご協力をお願いいたします。(広報委員)

【各地区の青少年指導員★第24期】

山	山	向	宮	南	南	南	南	富	富	広	広	東	ひ	根	夏	夏	中	中	中	戸	高	下	下	葛	春	中	池	朝	
百	神	根	の	よ	親	親	士	士	見	が	が	が	し	刈	刈	塚									田	日	谷	台	
合	前	下	台	葉	会	会	桜	丘	丘	町	町	原	丘	下	場	場	村	西	下	苑	砂	村	村	野	日	場	谷	台	
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
阪	末	小	川	井	田	伊	東	白	栗	佐	高	櫻	上	桑	武	島	高	菊	原	佐	宇	藤	深	國	竹	飯	児	金	
尾	野	山	副	上	代	藤	城	崎	原	藤	橋	井	村	原	井	村	橋	池	島	木	野	原	瀬	分	内	島	玉	子	
範	雅	孝	隆	昭	一	雄	優	和		佳	正	邦	建	正	麻	康	久	忠	誠	友	武	辰	広	満	秀	四	俊	恒	
子	之	夫	之	男	人	幸	美	男	實	子	宣	夫	也	博	子	彦	雄	康	司	良	幸	也	好	義	明	朗	次	夫	



中田青指のマーク

児童憲章

児童は、人として尊ばれる。

児童は、社会の一員として重んぜられる。

児童は、よい環境の中で育てられる。

青空

第37号

発行責任者 泉区中田地区
青少年指導員協議会
会長 國分満義
TEL 090-7422-3842

発行日 平成28年3月

空がだめなら陸があるさ



泉区制
30周年記念
平成28年



中田地区青少年指導員協議会

会長 國分満義



中田地区のみなさん、第24期青少年指導員(29名)は、地域や学校等の多大なるご協力のもとに無事2年間を修了することができました。先ずは感謝申し上げます。

昨年の暮れに中学校の同級生達と集まった際に中学校時代の話に大いに盛り上がりました。私も薄れかけた記憶を思い出しながら話すとみんな大笑いでした。今回はその時の取り戻した記憶を記事にして見ました。

中学生くらいまでは、将来何したいとか何になりたいとか、何も考えたことのない平凡な少年だったと思います。強いて言えば10歳年上の兄(長男)が当時中学校の臨時教員をやっていた、日曜日は兄が勤務する学校に連れられて行き、兄が顧問を務める部活の生徒と一緒に部活をやらせて頂いたことがありました。これって今思うととてもレアなケースだったように思います。そんな兄の姿を見て育ったせいかな、先生になるのもいいかなと思ったこともありました。

中2か中3の頃だと思うのですが、テレビに釘付けになったことがありました。それはこれまでに見たこともないドカいジェット旅客機の特集番組でした。しばらく見ているとそれはボーイング747(通称ジャンボジェット機)であることが分かりました。そして私は思いました。大人になったら、ジャンボジェット機のパイロットになりたいと。パイロットには英語が不

可欠ですから、その日からは英語の勉強を頑張ろうと思い、参考書を買ってきて英語の勉強を一生懸命やった記憶があります。(少年期から分かりやすい性格だったんですね)

16歳の誕生日が過ぎた頃、オートバイの運転免許を受けに運転免許試験場に自信満々で行ったのですが、適性検査(近視)で落ちてしまいました。自分が近視であることを知らなかったのです。その時点でジャンボジェット機のパイロットの夢は儚いものとなってしまいました。だが、乗り物の大好きな私は負けませんでした。「空がだめなら陸があるさ」と気持ちを切り替えて、数年後、とある自動車メーカーに就職をしました。配属先が自分の希望する研究・実験部門であったことでテストコース内を自ら試作車等で走らせることもできました。本当に好きな乗り物の開発に従事する職業に就けたことは楽しい時代でした。空を制することはできませんでしたが、陸の上では好きなことが満喫でき、2014年9月に定年退職になりました。(現在も青指と両立しつつ勤務中です)

現在の青少年たちに望むこと、言いたいこと、多々ありますが、特に次の3つを伝えたいと思います。「自分の好きなことの実現に向かって挑戦せよ」「夢が破れたら2番目に好きなことを目標とせよ」「他の人がやれることは自分にやれないはずはない」

醤油を借りる



中田小学校

校長 蒲谷猛

「すいませえん。醤油かしてくださあい。」—子どものころ、夕飯の支度をしている母が自宅の醤油がなくなっていることに気付くと、よくお隣さんに借りに行かされました。コンビニはまだ無い時代ですから、欲しい物が欲しいときに手に入るわけではありません。醤油に限らず、何か切らしてしまうとご近所からお借りするというのが当たり前でした。

この「ご近所から借りる」ことをとおして、母から教えられたことの一つは、人に頼ったり人から頼られたりして生きることの心地よさや価値です。子ども心に「借りに行く」行為はかなり気恥ずかしいものですが、手伝いに行かされるなかで、挨拶、言葉遣い、入り方・帰り方、「お隣さんにも無かった場合」の応用編まで母の事前指導を受け、実地経験を積むことは人との関わり方を学ぶよい機会の一つであったことはまちがいありません。

また、「顔を覚えられる」という効果もありました。単に「顔」ではなく、性格や成長の様子まで覚えられていたと思います。そのため、「最近背が伸びたね」「よくあいさつするようになったね」「この間、〇〇していたよ」というさまざまな情報が親の元に入ったり、場合によっては直接褒められたりしられたりするわけです。

よき昔を懐かしむ話をしたいわけではありません。個人情報管理が不可欠な時代にはなりませんが、本校の子どもたちの「顔」が地域の皆様を知っていただけていることが、よりよい成長にとってとてもありがたいことであると感じています。多くの人とかかわり合って褒められたりしられたりしながら、人と人がつながる心地よさと価値を肌で感じられるよう、本校では、次のような重点目標を立て、積極的に実践しています。今後とも、ご理解・ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

- ・地域の文化や自然とより豊かにかかわる学習活動を構成・実践します。
- ・学校地域相互の「参画協働」をキーワードに、多様な場面での大人と子どもとの出会い・かわり合いを大切にします。

中田地区青少年指導員年間活動記録

ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会 平成27年5月30日

毎年恒例の軽スポーツ大会が、本年度も和泉遊水地で開催されました。区内の障がい児者と中・高・大学生をはじめとする区民が、玉入れ・デカパン競走・パン食い競走等の軽スポーツを通して、ふれあいを広め、助け合いの心を育むことを目的として、開催されます。私たちは、昼食のカレーを作るのが、メインの役割です。



▲障がい者と中学生ペアでデカパン競走



▲位置についてヨーイ・ドン

全員研修会 平成27年6月21日

本年度は上飯田地区センターで、泉少年補導員連絡会会長野村貞夫氏を講師にお迎えし、「子ども達を取り巻くサイバー犯罪の現状と対策」をテーマに講演していただき、この問題にどう対応するべきかについて質問も受けていただきました。午後はペタンクで盛り上がり、なんと中田は女性3人のチームが優勝してしまいました。



▲野村講師の話に聞き入る参加者



▲ペタンクで優勝した女性3人

全市一斉パトロール 平成27年7月25日

夜間に塾通いする子どもたちが増えるなど、青少年を取巻く社会環境は大きく変化しています。地域の社会環境調査のため、全市一斉パトロールでコンビニや書店等身近な環境の実態調査を実施しました。

キャンプ教室

(研修委員会)

平成27年7月18日～20日

このところ3年連続して利用してきたezBBQキャンプ場から気分一新、今回は道志川沿いにある青根キャンプ場にて実施。参加者は女子38名、男子14名、青指24名に加え、助っ人に高校生が参加してくれて総勢77人です。若い助っ人は大助かりでした。今年は直前まで台風に見舞われ、中止も視野に入れた準備を進めるなど、スタッフも大変でしたが、当日は幸い台風も収まり、危ぶまれた水遊びも含め、ペタンク大会など、準備したイベントは全て実施でき、全員大事なく帰還して、楽しい夏の思い出になりました。



▲協力して食事を準備します



▲川遊びは涼しくて楽しいよ



▼やっぱ夏の夜は花火でしょ



▲みんなで食べると美味しいね



▲思い出のキャンプファイヤー



▲またみんなで会えるといいね



サマーフェスティバル

(活動委員会)

平成27年8月22日

全国大会で金賞を受賞した中田小学校マーチングバンドのすばらしい演奏に始まったサマーフェスティバルは、中田中学校吹奏楽部の音楽や、学童保育の子ども達の迫力ある和太鼓でさらに盛り上がり、ビンゴ大会、盆踊り、昨年中止した打ち上げ花火を復活させ、フィナーレのナイアガラと様々な催し物で、皆さんも楽しんで頂けたのではないのでしょうか。グラウンドでは、地域の小学生・中学生が自ら企画したゲーム大会を開催し、ゲームに参加した子ども達だけでなく、運営に携わった子ども達も良い思い出になったと思います。

来年も楽しんで頂けるよう企画しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

最後にご協力・協賛頂きました各団体・商店など、また町内会・自治会・子供会の皆様、本当にありがとうございました。



▲ 中田小学校マーチングバンドの皆さん



▲ 中田中学校吹奏楽部の皆さん



▲ 学童保育の和太鼓演奏



▲ 新極真会泉中田道場の演武



▲ 子ども達によるフラダンス



▲ 盆踊りする子ども達

御霊神社例大祭

平成27年9月27日



▲ 子どもみこしワッショイワッショイ



▲ 女の子もがんばっています



▲ 山車曳き準備完了

中田連合大運動会

平成27年10月11日(雨天中止)

横浜市青少年指導員研修会

平成27年10月25日 於 磯子公会堂

東中田小学校“ふれあいDoing”

平成27年10月31日

今年は午前中授業参観があり、午後に行われました。保護者の皆様や就学前の子ども達も多数参加され例年になく盛況でした。毎年人気のスライムコーナーや新しい遊びのキャップマグネットコーナーには長い行列ができました。昔遊びの竹馬には熱心に歩く練習をする子ども達がたくさんいました。来年度もより一層楽しいふれあいDoingにしたいと思います。



▲ マグネットキャップ作り



▲ 竹馬上手に乗れたかな～

泉区ふれあい祭り

平成27年11月3日(和泉遊水地)

子どもたちの未来を創る“いず魅力”をテーマに、多くの区民が一堂に会し、ふれあいの場を持つことで、一層の郷土愛と相互の絆を深め、明るく元気の出る街づくりを推進する目的で行われました。好天にも恵まれ、多くの来場者で一日中にぎわいました。



▲ 昔遊び(けん玉・ベーゴマ)



▲ 大人気のヤキソバ作りに大忙し

文化祭



(文化委員会)

平成27年11月7日・8日

第42回中田連合文化祭が開催されました。展示会場の中田小体育館には手芸や絵画をはじめ多くの力作が展示されました。今年は相撲の化粧廻しも展示され注目を集めました。グラウンドでは地元野菜の直売や飲食の模擬店に加えて宮城県中田町の皆さんにも出店いただき、雨天にも関わらず各店完売の賑わいでした。お天気にこそ恵まれましたが、今年の文化祭も盛況のうちに終了することができました。来年も多くの皆様方のご参加をお待ちしています。



◀ 自慢の力作が並びます



◀ 初お披露目の化粧廻し



▲ 葛野小のみんなの大合唱



▲ 岩城実行委員長の開会宣言



▲ 雨に備えて念入りに会場づくり

全市一斉統一行動キャンペーン (中田小学校) <文化祭時に同時開催>

新春健康マラソン 平成28年1月17日

中田地区青少年指導員研修会 平成28年3月5日～6日 茨城 筑波

テーマ「いつの時代も、子どもから大人まで
誰もが憧れる宇宙の世界」

泉区青少年フェスティバル 平成28年3月13日 泉公会堂

横浜市青少年指導員大会 平成28年3月19日 於 県立青少年センター

青少年の居場所づくりを開催
(4/18・6/20・9/19・11/21・12/19・1/16)

定例会を毎月1回開催



▲ クッキー作り



▲ おいしそうなクッキー



▲ つるしびなに色付け



▲ 上手にできたね

顕彰

<県表彰>

<勤続20年>

<勤続15年>

<勤続10年>



國分満義

子どもたちと一緒に成長してきた22年間だったような気がします。これからも誠実性を大切に子どもたちに接していきたいと思っています。



井上昭男

家族、仲間へ感謝。これからも子ども達の笑顔にたくさん会えるように頑張っていきたいと思っています。



菊池忠康

青少年指導員として15年活動を続けて良かったことは、同じ仲間が友達ができたことと地域の皆様と知り合えたことだと思います。



藤原辰也

地域の子もたちのために活動を始めて早くも10年。これからも体が続く限り頑張っていきたいと思っています。



佐藤佳代子

協力し合える沢山の仲間の人達と出会え、感謝の10年間で。もう少しの間、頑張れるかな。



深瀬広好

家族と仲間へ支えてもらいながら10年間頑張ってきました。これからも楽しみながら頑張っていきます。

2年間を振り返って。

昨今ビジネスの現場では、変革や効率といった価値観が重んじられ、そのような環境に慣れた私にとっては、青指の仕事の進め方は時には真逆に見えることもあり、初めは戸惑いました。しかし、青指メンバーの真摯な姿勢や確実な仕事を遂行する姿を目の当たりにして、変革や効率だけが価値ではなく変わらないことの大切さを教わりました。これからも中田の良き伝統が変わらず続くことを願ってやみません。(桑原 正博)

【各地区の青少年指導員★第24期】

山百合	山前	向根	宮の	南よ	南親	南親	南交	富士	富士	広見	広見	東原	ひがしが	根下	夏場	夏場	中村	中村	中村	戸下	高砂	下村	下村	下村	葛野	春日	中田	池田	
尾野	山副	山副	山副	井田	伊藤	東坊	白崎	栗原	佐藤	高橋	櫻井	上村	桑原	武島	高橋	菊池	原島	佐々	宇野	藤原	深瀬	國分	竹内	飯島	児玉	金子	恒子	俊次	明次
雅孝	隆昭	昭一	一雄	優和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和
之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫	之夫

編集後記

青少年指導員協議会の1年間の活動を写真を交えてご紹介いたします。今後も皆さんが楽しく参加できるよう全員で取り組んでまいります。(広報委員)



中田青指のマーク

児童憲章

児童は、人として尊ばれる。
児童は、社会の一員として重んぜられる。
児童は、よい環境の中で育てられる。

青空

第38号

発行責任者 泉区中田地区
青少年指導員協議会
会長 國分満義
TEL 090-7422-3842
発行日 平成29年3月

青少年指導員制度50周年に向けて



中田地区青少年指導員協議会
会長 國分満義

平成28年4月1日より、第25期青少年指導員がスタートしました。中田地区は定員30名に対し、26名でのスタートでしたが、11月に若草自治会より1名追加され、現在は27名で活動中です。しかしながら依然3名の欠員となっております。次代を担う青少年が健やかに、のびのび育つには、学校・家庭・地域・行政が連携し、青少年の健全育成、環境健全化活動等に取り組むことは必要不可欠なことです。中田地区の皆様方にはご理解をいただき欠員3名の補充を是非ともお願い致します。

さて、次年度は、青少年指導員制度が発足して50周年になります。横浜市青少年指導員連絡協

議会では50周年記念誌発行に向けて編集委員会が発足し、私が泉区代表に選出されました。中田地区においても記念誌の発行に向けて調整中であり、ここで中田地区青少年指導員歴代会長と活動のあゆみについて振り返ってみたいと思います。(以下参照)

私が会長に就任して5年、特別に立派な功績とかはありませんが、諸先輩方が築き上げてこられた素晴らしい事業を絶やすことなく継承していくことが私に課せられた使命だと思っております。私たちは、中田地区の青少年の健全育成活動に邁進して行きたいと考えております。

中田地区青少年指導員歴代会長と活動のあゆみ

初代会長	柴崎 勲	第1期～第2期 (昭和45年～48年)
2代会長	宮本忠直	第3期 (昭和49年～50年)
	昭和49年	「さよなら夏休みの集い」発足
3代会長	小山栄次	第4期～第10期 (昭和51年～62年)
	昭和51年	「中田文化祭」発足
	昭和52年	「中田青指キャンプ教室」発足
	昭和57年	「さよなら夏休みの集い」を 「サマーフェスティバル」に改称

4代会長	鶴見忠雄	第11期～第12期 (昭和63年～平成3年)
	昭和63年	戸塚区から泉区に分区
5代会長	堀江治男	第13期～第15期 (平成4年～8年)
	平成4年	「泉区ふれあいザ軽スポーツ大会」実施
6代会長	猪俣武雄	第16期～第22期 (平成9年～23年)
	平成16年	「なかだっ子ともだちづくり交流会」実施
	平成18年	泉区青少年指導員協議会会長に就任
7代会長	國分満義	第23期～現在第25期 (平成24年～現在)
	平成26年	「青指だより」を四半期毎に発行



青指研修 南伊豆・雲見にて

双方向の関係性



葛野小学校
校長 縣優子

三重県の答志島では、昔から他人同士が親友のように団欒を楽しむ光景が見られそうです。同島には、「寝屋親制度」といって、中学を卒業した男子が週末になると、世話役である「寝屋親」の家で生活するという取組があるそうです。相互扶助の文化を支えるこの制度のもと、子どもは、寝屋親から島の歴史や礼儀作法等を教わるのです。一方で大人は、他人の子どもを預かり教育する。まず、自身が「親よりも親らしく」という自覚と姿勢が求められるのだそうです。

個々の人間は、個々の人間として切り離されて存在しているわけではなく、繰り返し、他者(自分以外の人間)との関係性の中でその存在が確かめられ、自分自身もさまざまなことが問われているということです。つまり一方通行ではなく双方向の関係で、他者とともに生きる姿勢の豊かさが求められているということだと思います。学校で、家庭で、地域でそれぞれの「場」で豊かな関係創りをしていきたいものです。そして、学校と家庭が、学校と地域が豊かな関係を創り、互いに様々なことを考え、経験し、励まし、支えあい、成長していく歩みをしたいと思っております。



東中田小学校
校長 芝フク代

中田のまちに支えられた幸せな3年間

東中田小学校に着任したのが3年前の平成26年4月1日。3月のさくら祭り地域で紹介したいから中田小に来るよにとのお話があって「まだ新聞報道もないのにいいの。」と副校長先生と話したのを覚えています。あいにくの雨でさくら祭りは中止となり、残念でしたが、それほど、連合会長様はじめ地域の方々为学校のことを一番に考えてくださっていることを知り、嬉しく思うと同時に温かい地域に着任できてよかったと強く感じました。

地域との強いつながりを感じたもう一つの取組は、本校のPTA主催の土曜日開催のふれあいDoingと1年生の昔遊びです。これには、青少年指導員さんとスポーツ推進委員さんがボランティアとして、昔遊びの名人として、子どもたちにたくさんを教えてくださいました。特に、昔遊びの時間は、単にできるようになるだけでなく、「感情をコントロールする力」「やり方を教えてもらうためのコミュニケーション能力」「できるようになるまで頑張る忍耐力」「友達と協力し、励まし合う協調性」「達成感が自信となり前向きに行動する力」等、子どもたちがこれからよりよく生きるために必要な力を学ぶ大切な場となりました。本当にありがとうございました。

幸せな3年間を過ごすことができたのも、皆様のおかげです。本当にお世話になりました。東中田小は今年創立50周年を迎えます。これからもよろしくお願ひいたします。

中田地区青少年指導員年間活動記録

ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会 平成28年5月21日

この大会は、区内の障がい児者と中・高・大学生をはじめとする区民が参加し、玉入れ、デカパン競走、パン食い競走や、ダンス等の軽スポーツを通して、ふれあいを広め、助け合いの心を育むことを目的として毎年開催されています。私たちは、昼食のカレー作りをはじめ、大会を進行する上での様々なサポートを行いました。



▲障がい者と中学生が楽しく走っています



▲いくつ入ったかな？

全員研修会 平成28年6月12日

本年度は立場地区センターにて、神奈川県警察本部薬物銃器対策課薬物捜査伝承官の志水佳比古氏を講師にお迎えし、「危険ドラッグ等薬物乱用防止及び犯罪のない明るい社会にするため等について」をテーマに危険ドラッグ等薬物の恐ろしさをわかりやすく解説していただきました。午後は毎年恒例、ペタンクの実技研修を行いました。



▲講師の話を熱心に聞く参加者



▲的にどれだけ近づけられるかな

全市一斉パトロール 平成28年7月23日

青少年を取り巻く社会環境健全化活動のひとつとして、教育関係者・青少年指導員の計30名が7班に分かれ、夜10時以降の公園、コンビニ、ゲームセンター、カラオケボックス等のパトロールを行い、中田地区の社会環境の実態把握と見守りを実施しました。

キャンプ教室



(研修委員会) 平成28年7月16日～18日

今年のキャンプ教室は、南足柄市の夕日の滝にあるezBBQキャンプ場で実施しました。夏休みに入る前の開催ということもあり、参加者は32名(女子19名、男子13名)と例年よりも少ない人数となりましたが、3日ともお天気にも恵まれて予定した行事を行なうことができました。初日の夜はきもだめし、泣いてしまった子もいたけどスリル満点でお化役の大人も大満足。2日目は工作教室、川遊び、おなじみカレー作りとキャンプファイヤー。元気いっぱい夏の思い出を作って無事中田に戻りました。



▲キャンプファイヤー 火の神になった子どもたち



▲火の番はぼくらの仕事だよ



▲朝は元気にラジオ体操



▲みんないただきます。



▲目玉焼きは私にまかせて



▲みんな笑って！

サマーフェスティバル



(活動委員会) 平成28年8月27日

今年のサマーフェスティバルは、2週続けて雨の影響によりグラウンドで実施予定だった中田小学校マーチングバンドや中田中学校吹奏楽部の演奏、小中学校生のゲーム大会を中止し、規模を縮小しての開催となり少し寂しい祭りになりました。この日のために厳しい練習や準備をされた生徒さんには残念な結果となりました。それでも多くの方々に参加して頂き、少しでも楽しんで頂けたのではないのでしょうか。来年度も楽しんで頂けるよう企画しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

最後にご協力・協賛頂きました各団体・商店など、町内会・自治会・子ども会の皆様、本当にありがとうございました。



▲今年からステージが変わりました



▲放送を担当した中学生の皆さん



▲ヒップホップダンスを踊る子ども達



▲JAフラの皆さん



▲子ども達によるフラダンス



▲テントで楽しむ来賓の皆さん

御霊神社例大祭 平成28年9月25日



▲力いっぱい山車を曳いている子どもたち



▲長後街道を練り歩く山車曳き



◀幣束を務める青指会長

中田連合大運動会 平成28年10月9日 (雨天中止)

東中田小学校“ふれあいDoing” 平成28年10月29日

楽しいダンスで始まったふれあいDoing。スライムや紙コップロケットづくりの工作や、昔遊びにスポーツゲームなど、PTAのお父さんお母さんが用意してくれた遊びがたくさんあり過ぎて、みんな時間ギリギリまで楽しんでいました。



▲ぶんぶんゴマ楽しいな



▲竹馬乗れるようガンバレ!

泉区ふれあい祭り 平成28年11月3日 (和泉遊水地)

今年も、一層の郷土愛と相互の絆を深め、明るく元気の出る街づくりを推進する目的で行われました。前日の雨で少し心配しましたが、当日は秋晴れの下、多くの来場者で一日中にぎわいました。私たちは焼きそば、綿菓子、フランクフルトの模擬店で参加しました。



▲昔遊びは大にぎわい



▲フランクおいしく焼いています



文化祭 (文化委員会)

平成28年11月12日・13日

快晴に恵まれ、第43回中田連合文化祭が中田小で開催されました。体育館では手造りの展示会場に手芸・絵画・置物・写真等、愛らしい小品からプロ級大作まで約1,500点が所狭しと並べられ見る者を魅了しました。グラウンドでは各種模擬店、地元と宮城県登米市中田町から直送頂いた安くて新鮮な農産物の販売が行われ全て完売する大盛況ぶりでした。ご来場の皆様、出品・出演・出店頂いた皆様、実施にあたりご尽力頂いた関係の皆様にご深くお礼申し上げますと共に、来年も多くの皆様のご参加をお待ちしております。



力作揃いの作品展



おもしろ工作のロボット



▲ 超満員! 葛野小4年生の大合唱



▲ 晴れ! 岩城実行委員長の開会宣言



▲ 堂々完成! 手造りの展示会場

全市一斉統一行動キャンペーン (中田小学校) <文化祭時に同時開催>

新春健康マラソン 平成29年1月15日

中田地区青少年指導員研修会 平成29年3月4日~5日 伊豆 雲見

テーマ「前期を振り返り、後期に向けた方向性について語り合おう」

横浜市青少年指導員大会 平成29年3月11日 於 県立青少年センター

泉区青少年フェスティバル 平成29年3月12日 泉公会堂

みんなの遊び場を開催

(5/28・7/2・10/15・12/17・1/21)

定例会を毎月1回開催



▲ 牛乳パックでおもち作り



▲ 組ひもストラップ製作中



▲ 組ひもストラップ完成

1年間を振り返って

地域の行事(祭り・イベントなど)が青少年育成の場であることに何ら疑う余地はない。中田地区の殆ど全ての行事に携わり、長らく地域に貢献してきた青指先輩メンバー諸氏のひたむきな姿勢には、感服するばかりだ。私自身にとっては、仕事のため活動に大した貢献ができず、悔いの残る1年目となった。ただ、娘(小4)が初参加した青指キャンプなど数々の行事に家族が関心を持って参加し、そして来年度の行事を心待ちにしていることが嬉しい。青指の活動により中田地区の地縁的なコミュニティとしての機能が今後一層向上する一助となるよう励みたい。(荒 功一)

【各地区の青少年指導員★第25期】

若山	山向	宮南	南南	富富	広広	東東	ひが	根根	夏夏	中中	中中	戸戸	高高	下下	下下	葛葛	春春	中中	池池
百神	根の	よ親	親親	土土	見見	がが	がが	刘	下	村	西	下	苑苑	砂砂	村村	野野	日	田	日
草合	前下	台葉	会会	丘丘	町町	原原	丘	下	場	村	西	下	苑	砂	村	野	日	田	日
田阪	末小	川井	田伊	白佐	高櫻	荒坂	島	高	田	原	北	宇	藤	深	國	竹	飯	児	金
口尾	野山	副上	代藤	崎崎	藤橋	井	本	村	橋	川	島	谷	野	原	瀬	分	内	島	玉
長範	雅孝	隆昭	一雄	和佳	正邦	功和	康久	敏誠	武	辰	広	満	秀	四	俊	恒			
内子	之夫	之男	人幸	男子	宣夫	一弥	彦雄	雄司	勉幸	也	好	義	明	朗	次	夫			

顕彰

<県表彰>

<勤続15年>



井上昭男

家族の理解、青指仲間の支え励まし、子どもたちの笑顔によって21年間やってこられました。これからも真摯に子どもたちと向かい合い少しでも地域の子どものために活動していきたいと思ひます。



金子恒夫

15年間多くの人たちと色々な活動をして学んだことは、私自身もこれからも大いに役立ちます。また、子どもたちと多くの行事に参加して楽しい思い出を作ることができました。

編集後記

泉区制30周年の今年度は「青空」発表以外にも多くの活動に参加しました。青少年のいきいきした姿に接すると健全育成の使命をがんばりたいと思ひます。今後の御支援をよろしくお願ひします。

(広報委員)